

成果報告書

地域部活動推進事業

担当部署	延岡市教育委員会		
所在地	宮崎県延岡市	運営形態	地域移行 市運営型
運営主体	延岡市教育委員会		
課題	<p>○全校生徒235名であり、そのうちの部活動加入者は167名である。(加入率は71.0%)</p> <p>○吹奏楽部の部員数は29名で、本校部活動加入者の約2割が所属している。</p> <p>○現在、部活動顧問の教諭は吹奏楽部の指導経験はあるが、諸般の事情により、平日・休日ともに、指導に要する時間を見い出せない状況にある。</p>		
事業目標	本市中学校の吹奏楽部において、地域人材を活用し、休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究を行うことで、生徒にとって望ましい部活動と学校の働き方改革の実現を図る。		
団体・組織等の連携			
拠点校等	延岡市立旭中学校		
活動場所	学校施設		
活動概要	地域に在住する吹奏楽指導経験者を1名確保し、放課後及び休日の部活動指導を実施した。地域人材が外部指導者として、専門的知識の必要な楽器ごとのレッスンや合奏指導を担い、各種コンクールへの出場や行事への参加により、吹奏楽を通じた生徒の情操教育並びに地域貢献に寄与している。		

○本事業による成果

- ・ 地域に住む指導経験豊富な外部指導者が部活動指導を行うことで、生徒に自信が付き、向上心を高めることができた。また、保護者も子どもたちの技能や意欲の向上を感じており、外部指導者の部活動指導について肯定的に捉えている。
- ・ 吹奏楽部の顧問は、外部指導者に部活動運営の一部を任せることができ、顧問の負担を大きく軽減することができた。
- ・ 外部指導者は、生徒と良好な関係を築くことができ、指導者自身も楽しみながら部活動指導ができている。技能面の向上だけでなく、部活動の教育的意義も考慮した指導をしている。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・ 外部指導者による個人レッスンや全体合奏指導など、生徒一人ひとりの状況や各楽器に応じたきめ細かい指導を実施している。
- ・ 顧問と外部指導者が練習方法や活動内容などについてコミュニケーションをとりながら、部活動運営をするように心掛けている。

○運営上の工夫

連携体制

- ・ 学校における活動状況や地域移行に向けた取組の成果と課題について、学校と延岡市教育委員会、宮崎県教育委員会を含めて協議する時間を設定した。
- ・ 生徒の状況や人間関係について、顧問を通じて各学級担任とも連携し情報共有を図っている。
- ・ 鍵の管理は学校職員で対応する。
- ・ 県の示すガイドラインに沿って、活動時間を設定する。

部活動に必要な用具・道具について

- ・ 学校備品として楽器を購入したり、部費から経費を捻出したりして定期的に楽器を購入している。
- ・ 個人持ちの楽器以外は、学校内で楽器を管理し、生徒へ貸し出している。

○継続的な運営に関する課題

- ・ 吹奏楽では様々な楽器の指導が必要になるため、一人で全体の指導をすることに不安を抱える方もおり、学校や関係団体、地域等と連携を図りながら、複数体制での指導も検討し人材確保していく必要がある。
- ・ 指導者への謝金や活動中の保険等を含めた部の運営に係る会費負担について検討が必要である。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

- ・ 学識経験者や各種団体代表、学校長、保護者の代表等で構成する部活動の地域移行に関する協議会を立ち上げ、文化部(吹奏楽部)の専門部会を設置する。
- ・ 協議会において、生徒や保護者、職員等へのアンケート調査を実施しながら、本市の実情に合った部活動の在り方について検討する。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	29名
	募集方法	旭中学校吹奏楽部として参加
指導者	人数等	地域の指導者1名
	募集方法	校長の推薦
参加者の移動手段		
活動費用	指導者謝金等	指導者謝金 1600円/時間
	その他	大会参加旅費
活動財源	会費	今回の事業に関する保護者負担金はなし
	その他	地域部活動推進事業補助
スケジュール	基本活動	平日1日(1.5時間)、休日1日(3時間) ※ 指導者と学校とで連絡をとり指導日を決定
	年間	4月 課題曲クリニック 7月 県吹奏楽コンクール 9月 ふれあいコンサート 11月 地区吹奏楽祭 12月 宮崎県アンサンブルコンテスト 1月 楽器別講習会、ウインターカップ 2月 地区新人演奏会
保険加入等		スポーツ安全保険 (指導者1名、生徒29名) 指導者・保護者負担金はなし

【活動の様子（写真添付）】

